

報道関係者各位

株式会社 BCN
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-14 本郷ダイヤビル 6F
TEL 03-4236-5200 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。
BCN 田中繁廣
<http://ranking.computernews.com/>

発表！ 「BCN AWARD 2006」受賞メーカー決定 PC 関連及びデジタル家電商品 92 部門の国内ナンバーワン・ベンダーを決定 ～ プロと若い世代の夢をつなぐ「IT ジュニア賞」も設立～

株式会社 BCN(本社:東京都文京区、代表取締役社長 奥田喜久男)は、1月12日、全国の主要なパソコン販売店、家電量販店の POS データ集計に基づき、パソコン関連商品及びデジタル家電商品 92 部門でのセールスナンバーワン・ベンダーを選ぶ「BCN AWARD 2006」の受賞社を発表した(詳細別紙参照)。

「BCN AWARD 2006」は、2005年1月から12月までの販売店の POS データにより、AWARD の受賞社を選定している。実売台数という客観的な指標による AWARD は、国内唯一のもので、今回が第7回となり、92 部門 41 社の受賞となった。

テレビ機能付きパソコンなど AV 機能との融合が進むパソコンでは、デスクトップ、ノート部門ともに前年に続き NEC がトップを獲得した。昨年大きな話題を集めた携帯オーディオでは、メモリタイプ、HDD タイプ部門ともにアップルが圧倒的な支持を集めてトップとなった。さらに、デジタル家電のけん引役である薄型テレビでは、液晶テレビの 32 インチ未満、32 インチ以上の両部門ともにシャープが、プラズマテレビでは松下電器産業が激しい競争を制してトップになっている。

「BCN AWARD」は、主要パソコン販売店、家電量販店 18 社 2,206 店舗(2005年12月末現在)の POS データ統計を作成する当社が、同データを基に年間(1月～12月)販売台数第1位のベンダーを表彰するもの。選考にあたっては、高知工科大学総合研究所所長・水野博之氏、つくば国際大学教授・大野尙郎氏、富士通総研経済研究所主任研究員・前川徹氏、東北大学名誉教授・宮崎正俊氏、濱田松本法律事務所弁護士・辛島睦氏の5人の学識者からなる「認証委員会」を設置し、同委員会の検証作業を経た公正な評価システムが導入されている。

対象部門は、ハードウェアが60部門、ソフトウェアが32部門の計92部門。今回の AWARD では、液晶テレビを32インチ未満と32インチ以上に分割したほか、デジタルカメラもレンズ一体型とレンズ交換型に、携帯オーディオをフラッシュメモリと HDD に分割するなど、最新の市場動向に合わせて12部門を新設している。

BCN AWARD 2006 については、1月27日(金)青山ダイヤモンドホールにおいて表彰式を開催する。

〔POS データ提供販売店〕

アロシステム、エイデン、大塚商会、ギガスケーズデンキ、グッドウィル、さくらや、上新電機、ソフマップ、ZOA、九十九電機、T・ZONE ストラテジィ、デオデオ、ニノミヤ、100 満ポルト、ビックカメラ、ピーシーデポコーポレーション、ベスト電器、ラオックス、以上18社(50音順)

<ハードウェア部門:60部門26社>

	部門名	受賞社	受賞回数
	デスクトップPC部門	日本電気株式会社/NECパソナルプロダクツ株式会社	3年連続5回目
	ノートPC部門	日本電気株式会社/NECパソナルプロダクツ株式会社	3年連続4回目
	携帯情報端末部門	シャープ株式会社	3回目
	液晶ディスプレイ部門	三菱電機株式会社	7年連続7回目
	インクジェットプリンタ部門	セイコーエプソン株式会社/エプソン販売株式会社	6回目
新設	ページプリンタ部門	キヤノン株式会社/キヤノン販売株式会社	7年連続7回目
新設	サーマルプリンタ部門	キヤノン株式会社/キヤノン販売株式会社	初受賞
	複合プリンタ部門	セイコーエプソン株式会社/エプソン販売株式会社	4年連続4回目
	フォトプリンタ部門	セイコーエプソン株式会社/エプソン販売株式会社	初受賞
	外付けHDD部門	株式会社バッファロー	4年連続4回目
	内蔵HDD部門	株式会社バッファロー	7年連続7回目
	MOドライブ部門	株式会社アイ・オー・データ機器	2回目
	記録型DVDドライブ部門	株式会社アイ・オー・データ機器	4年連続4回目
	CD-R/RWドライブ部門	株式会社バッファロー	4年連続4回目
	メモリ部門	株式会社バッファロー	7年連続7回目
	マザーボード部門	アスース・ジャパン株式会社	3回目
	メモリーカード部門	松下電器産業株式会社	初受賞
	カードリーダー部門	株式会社バッファロー	4年連続4回目
	拡張インターフェース部門	株式会社バッファロー	3年連続3回目
新設	USB部門	エレコム株式会社	6年連続6回目
	USBメモリ部門	株式会社バッファロー	初受賞
	プリントサーバ部門	株式会社バッファロー	6年連続6回目
	映像関連ボード部門	株式会社アイ・オー・データ機器	3年連続5回目
	サウンド関連ボード部門	クリエイティブメディア株式会社	7年連続7回目
	MIDI部門	ローランド株式会社	6年連続6回目
	グラフィックボード部門	シー・エフ・デー販売株式会社	3年連続3回目
	スピーカ部門	エレコム株式会社	3年連続3回目
	LANカード部門	株式会社バッファロー	7年連続7回目
	HUB部門	株式会社バッファロー	5年連続6回目
	ルータ部門	株式会社バッファロー	3年連続4回目
	無線LAN部門	株式会社バッファロー	4年連続4回目
	モデム部門	株式会社アイ・オー・データ機器	初受賞
新設	スキャナ部門	キヤノン株式会社/キヤノン販売株式会社	6年連続6回目
新設	デジタルカメラ(レンズ一体型)部門	キヤノン株式会社/キヤノン販売株式会社	2年連続2回目
新設	デジタルカメラ(レンズ交換型)部門	キヤノン株式会社/キヤノン販売株式会社	2年連続2回目
	PCカメラ部門	株式会社ロジクール	4年連続4回目
	マウス部門	エレコム株式会社	6年連続6回目
	キーボード部門	エレコム株式会社	4年連続4回目
	ゲームコントローラ部門	エレコム株式会社	2年連続2回目
新設	タブレット部門	株式会社ワコム	7年連続7回目
新設	携帯オーディオ(フラッシュメモリ)部門	アップルコンピュータ株式会社	2年連続3回目
新設	携帯オーディオ(HDD)部門	アップルコンピュータ株式会社	2年連続3回目
新設	電子辞書部門	カシオ計算機株式会社	初受賞
新設	KVM切替器部門	株式会社コレガ	初受賞
	10キーボード部門	エレコム株式会社	2年連続2回目
	PCケース部門	スリー・アール システム株式会社	初受賞
	ドライブケース部門	恵安株式会社	初受賞
新設	ベアキットPC部門	エーオープンジャパン株式会社	2年連続2回目
	PC電源部門	株式会社エバグリーン	初受賞

新設
新設

部門名	受賞社	受賞回数
CDメディア部門	日立マクセル株式会社	2年連続2回目
DVDメディア部門	日立マクセル株式会社	2年連続2回目
MOメディア部門	日立マクセル株式会社	2年連続2回目
液晶テレビ(32インチ未満)部門	シャープ株式会社	2年連続2回目
液晶テレビ(32インチ以上)部門	シャープ株式会社	2年連続2回目
プラズマテレビ部門	松下電器産業株式会社	2年連続2回目
HDD/DVDレコーダー部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	2年連続2回目
DVDプレーヤー部門	セントレードM.E.株式会社	初受賞
プロジェクター部門	セイコーエプソン株式会社/エプソン販売株式会社	2年連続2回目
サラウンドシステム部門	オンキヨー株式会社	2年連続2回目
デジタルビデオカメラ部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	2年連続2回目

<ソフトウェア部門:32部門15社>

部門名	受賞社	受賞回数
プログラミングソフト部門	マイクロソフト株式会社	7年連続7回目
統合ソフト部門	マイクロソフト株式会社	7年連続7回目
ワープロ・エディタソフト部門	株式会社ジャストシステム	7年連続7回目
FEPソフト部門	株式会社ジャストシステム	7年連続7回目
文書管理ソフト部門	ソースネクスト株式会社	3年連続3回目
データベースソフト部門	マイクロソフト株式会社	7年連続7回目
表計算・グラフソフト部門	マイクロソフト株式会社	7年連続7回目
データ管理ソフト部門	株式会社ヴァル研究所	6年連続6回目
MAP・ナビソフト部門	ソースネクスト株式会社	3年連続3回目
プレゼンテーションソフト部門	マイクロソフト株式会社	7年連続7回目
グラフィックスソフト部門	アドビシステムズ株式会社	3年連続6回目
画像処理ソフト部門	アドビシステムズ株式会社	4年連続4回目
LAN・インターネットソフト部門	ソースネクスト株式会社	3年連続3回目
通信ソフト部門	株式会社インターコム	6年連続6回目
業務ソフト部門	弥生株式会社	7年連続7回目
ユーティリティソフト部門	ソースネクスト株式会社	4年連続4回目
携帯電話ソフト部門	ソースネクスト株式会社	6年連続6回目
セキュリティソフト部門	株式会社シマンテック	5年連続5回目
教育・学習ソフト部門	ソースネクスト株式会社	4年連続4回目
トレーニングソフト部門	ソースネクスト株式会社	5年連続6回目
テンプレートソフト部門	デザインエクスチェンジ株式会社	初受賞
フォントソフト部門	ダイナコムウェア株式会社	6年連続6回目
クリップアートソフト部門	株式会社データクラフト	3年連続3回目
葉書・毛筆ソフト部門	株式会社クレオ	7年連続7回目
趣味娯楽ソフト部門	株式会社アクアプラス	初受賞
ホームソフト部門	ソースネクスト株式会社	2年連続2回目
幼児ソフト部門	株式会社インターチャンネル	5年連続5回目
OS部門	マイクロソフト株式会社	7年連続7回目
サウンド関連ソフト部門	株式会社インターネット	3年連続3回目
システムメンテナンスソフト部門	ソースネクスト株式会社	初受賞
申告ソフト部門	弥生株式会社	2年連続2回目
ビデオ関連ソフト部門	ソースネクスト株式会社	2年連続2回目

< 「IT ジュニア賞 2006」を新設 >

なお、BCN では、技術立国日本の次代を担う若い世代にモノづくりの情熱を伝え、IT 産業にひとりでも多くの優秀な人材を招き入れるために、今回から新たに「IT ジュニア賞」を設立した。

全国高等専門学校が実施する「プログラミングコンテスト」などをメディアとして支援し、今年から「BCN AWARD」の会場で優秀校の表彰式を行う。IT 関連メーカーのトップが集う受賞会場で、若者たちに優秀作品のプレゼンテーションをしてもらい、経営トップからの激励と表彰を受けることで、若者たちに IT 技術に取り組む情熱が受け継がれることを期待して、「IT ジュニア賞」の創設を決定した。

こうした理念にもとづき、弊社では、優秀メーカーを表彰する「BCN AWARD 2006」のステージが、プロと若い世代の夢をつなぐ「栄光の舞台」となることを目指す。

< 「IT ジュニア賞 2006」受賞校 >

- ・津山工業高等専門学校
- ・鳥羽商船高等専門学校
- ・宇部工業高等専門学校
- ・和歌山県立田辺工業高等学校

【表彰式開催要領】

「BCN AWARD 2006」については、受賞ベンダー41社、POS データ提供販売会社などを招き、表彰式を開催します。場所、日時は以下の通りです。取材等ご希望の方は、是非ご参加下さい。

日時：2006年1月27日（金）

15:00 開会

15:10～15:45 「IT ジュニア賞 2006」表彰式

15:50～16:50 「BCN AWARD 2006」表彰式

17:00～18:30 懇親会

場所：青山ダイヤモンドホール(住所：東京都港区北青山 3-6-8)

< 「BCN AWARD 2006」後援団体 >

- 財団法人 社会経済生産性本部
- 社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会
- 社団法人 電子技術産業協会 (JEITA)
- 社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会
- 社団法人 日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会
- 社団法人 パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会

協力

朝日新聞

ヤフー株式会社

本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。

お名前・会社名をメールにてお知らせ下さい。

お問い合わせ先: release@bcn.co.jp